

広野町

魅力ある教育の実現に向けて



広野町では、平成29年2月に広野町幼小中魅力化検討委員会を設置し、平成31年4月にふたば未来学園中学校が開校されるのを見据え、広野中学校独自の魅力を創出することを念頭に、これまで町立学校において実践してきた教育を踏まえて幼小中の連携教育をはじめとした学校の在り方、今後の取り組み等ご審議いただき、平成30年10月に、5つの柱としてご提言いただきました。

魅力ある教育 5つの提言

1

幼小中連携
教育の推進

2

多様な個性
が活かされ
る教育

3

I C T教育
の推進

4

グローバル
教育の推進

5

郷土への愛
着を育む



平成30年11月
広野町教育委員会

1 幼小中連携教育の推進

○平成26年度から広野幼小中学校にて実施されてきた連携教育を活かし、幼小中全教職員が、「義務教育終了時点の子どもの姿」を共有し、広野町の実態にあった特色ある幼小連携と小中学校の「9年間一貫教育」の一層の充実に向けた取組を推進してまいります。

○平成31年度からは、小中学校の校舎が離れることから、連携教育を実施しながら、その一つ一つの取り組みの成果について検証してまいります。

○教育実践を、町ホームページ・広報・学校便り等で発信し、保護者・町民・県内外への周知を図ることで、広野町の教育の理念、成果の浸透を図ってまいります。

2 多様な個性が活かされる教育

○発達課題や心の問題、日本語能力等、子どもたち一人ひとりの課題に応じた教育的ニーズの多様化に対処するため、各方面の専門機関や専門家などと連携・協力した支援体制の確立や支援員の配置、教職員の専門性向上を図り、適切な指導及び支援に努めてまいります。

○子どもだけでなく、保護者や地域の理解と協力を得て、保護者の気持ちに寄り添った支援体制を確立し、課題の解決に取り組んでまいります。

○子どもたちの個性や能力を伸ばさせるため、中学校の部活動において、地域のクラブ活動と連携したり、外部指導者などの人材を活用したりするなど、生徒が学校内外で活躍できる体制を構築してまいります。

広野町での取組

○発達に課題のある子どもへの適切な支援のため、福島県立医科大学と連携した教職員のスキルアップ研修や支援の充実を図っています。また、学校・関係部局・機関と連携し、子どもたちが抱える課題の早期発見と早期対応に努めています。

○少人数のメリットを活かし、子どもの特性に応じたきめ細やかな子どもの心のケアや得意分野の伸長・苦手分野の克服といった学習指導の充実を図るとともに、望ましい集団づくりによるいじめ・不登校の防止等の生活指導に努めています。

○幼稚園・小学校・中学校間での個別の教育支援の引継が図られるよう努めています。

○個別のニーズに即して、中学校の部活動や学校外のクラブ活動から、双方あるいは片方を選択出来るようにし、子どもたちの活躍の場をつくり個性や能力の伸長に努めています。



教職員スキルアップ研修の様子

3 ICT教育の推進

- 新しい学習指導要領において、「学習の基盤となる資質・能力」と位置付けられた情報活用能力をコンピュータ等の情報手段の適切な活用やプログラミング教育を通して育成してまいります。
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、既存のICT機器の有効的な活用と広野町の教育実態に即した新たなICT環境の整備に努めてまいります。
- ICT機器端末や通信のトラブルに対処できるサポート体制（ICT支援員の配置など）を充実してまいります。
- 教職員のICT活用指導力の向上を図り、ICT機器の有効的な活用をすることが大切であると考えます。

ICTを活用した教育のメリット

- 学習内容や子どもの状況を踏まえた個々に応じた教育を可能とし、自らの疑問や興味のあることについて調べる学習やデジタル教材等を用いた習熟度別の学習、生徒の自主学習等の個別学習により、全ての子どもの学力を高める教育が実現できます。
- 子ども同士で議論を深めたり、発表したりする中でお互いを高めあう「協働学習」が可能となります。
- 幼小中の一貫した連携教育を取り組む上で、ICTを活用することはより効果的なものとなるだけでなく、県立中学校ともICTを活用した連携を行うことで、多様性のある学習や専門性の高い授業等を実現できます。

4 グローバル教育の推進

- グローバル化が進む国際社会においては、英語力の向上、コミュニケーション能力が重要であるとともに、コミュニケーションにおいては異文化を理解することが必要であると考えます。
- 学習指導要領において、小学校3、4学年からの外国語活動や小学校5、6学年の英語が教科化されるなど、グローバル化に対応した教育の充実が一層必要と考えます。

広野町での取組

- 幼稚園・小学校・中学校において外国語指導助手（ALT）を活用した英語教育により、早い段階からネイティブな英語に触れることでの英語力の育成やALTとの関わりの中で異文化理解の促進が図られています。
- 中学生を対象に町が英語検定料を全額負担し、子どもの学習意欲の向上に資するとともに日頃からの検定合格に向けた学習による英語力の向上に努めています。

○広野中学生海外教育交流派遣事業による海外でのホームステイ・現地の人々との交流や、ヤングアメリカンズによる外国人とのワークショップやホームステイの受け入れ、ブリティッシュヒルズでの異文化交流宿泊体験等、実際に異文化に触れ、外国の人々と相互理解することや実体験の中から生きた英語に触れる機会を設け、子どもたちの「国際的な視野と見識」の育成が図られています。



ALTによる英語教育



海外教育交流（カナダ）



ヤングアメリカンズ

5 郷土への愛着を育む

○地域の自然・伝統・文化や産業、地域の課題など、郷土を理解し、郷土への愛着を持った人材の育成に努めてまいります。

○学校以外においても、地域住民と関わりを持つ機会が増えるよう、スポーツや文化芸術活動、自然体験など地域の方と一緒に活動する生涯学習活動への参加が大切であると考えます。

○生涯学習活動は、郷土への愛着を養うだけでなく、子どもたち一人ひとりが自己の個性や能力を発揮し、達成感や成功体験を得ることで、自己肯定感を高めることの出来る場になると考えます。



映像教育による地域住民の方への取材

広野町での取組

○地域とともに子どもを育てることが出来る町立学校の強みも生かし、映像教育（シネリテラシー）や双葉郡教育復興ビジョンの取り組み「ふるさと創造学」、キャリア教育などを通して地域との絆を深めた教育に努めています。

【お問合せ】 広野町教育委員会学校教育課
〒979-0402

広野町大字下北迫字苗代替35

TEL:0240-27-4166

FAX:0240-27-4072